

人づくり 町づくり

日本のアルカディア・置賜を目指して

特別講演

「地方創生と大学の役割」

兼子 良夫 氏（神奈川大学長）

プロフィール

1955年山形県大江町生まれ。
大阪大学で博士（経済学）の学位取得。
2003年神奈川大学経済学部助教授として就任。
2007年経済学部教授となる。
2016年4月1日に神奈川大学学長に就任する。
専門は、財政学、地方財政。特に、財源配分、政府間財政関係の研究。



日時：2017年8月5日（土）12:20～17:00

場所：伝国の杜（上杉博物館）2階 大会議室

プログラム

12:20～12:55 ◇映画上映◇

日本のものづくり「手の匠－日本文化をうみだすもの－」

13:00 開会 趣旨説明 佐野賢治（神奈川大学教授）

13:15～13:45 特別講演 兼子良夫

13:50～15:50 報告と討論

渡部 務（高島町有機農業提携センター）

横戸 隆（米沢興譲館高等学校 校長）

後藤幸平（飯豊町長）

菅野芳秀（置賜自給圏推進機構）

コメンテーター

藤井敏信（東洋大学名誉教授）

宮内貴久（お茶の水女子大学教授）

16:00～17:00 全体討論

参加申し込み不要
（先着100名）
資料代 500円

* 講師を交えての交流会を開きます。
17:30～（要予約・予約は農文研まで）
上杉城址苑にて会費 5,000円

主催：（公財）農村文化研究所

共催：米沢市教育委員会・ポーラ伝統文化振興財団

後援：米沢市商工会議所・置賜自給圏推進機構・米沢市芸術文化協会・置賜民俗学会・

川西町文化財保護協会・米澤新聞社・米沢日報デジタル・神奈川大学宮陵会山形県支部置賜地区会

* 問い合わせ先（公財）農村文化研究所 * 〒992-0093 米沢市六郷町西藤泉 71-32

E-mail noubunken@gmail.com TEL/FAX 0238-37-5362

この事業は置賜文化フォーラムの地域文化振興支援事業による補助を受けております。



報告者紹介

渡部 務

1948年生まれ。山形県高島町出身。67年、高校卒業と同時に農業の道に入った。米の増産や肉牛飼育参入などで将来への夢を膨らませていた矢先、就農3年目に、減反政策が発表され衝撃を受ける。国の政策のままに農業経営を行うことに疑問を感じ、73年、高島の仲間と有機農業への取り組みを始める（高島町有機農業研究会設立に参加。）。以後、妻・美佐子さんとともに、都市の消費者と提携し無農薬の米や野菜の栽培を続ける。



横戸 隆

1958年生まれ。山形県上山市出身。81年山形大学工学部卒。同年日立製作所に入社し電子顕微鏡の開発設計に従事。88年同社を退社、工業科の教職に就く。新庄工業高校、山形工業高校、県教育センター、県高校教育課指導主事、改革推進室長を勤める。2013年霞城学園高校、15年米沢工業高校の校長を歴任し17年米沢興譲館高校に着任する。

後藤 幸平

1951年生まれ。山形県飯豊町萩生出身。74年早稲田大学社会科学部卒。同年よりマルシチ米穀に入社し、「米と自然の探遊館」の建設や「生産者の顔が見える米」の販売など、精力的に飯豊産米のピーアールと販路拡大に努める。また、町教育委員、町振興審議会委員、町農政審議会委員、町商工会理事などを歴任し、教育から産業まで幅広く町の政策や課題に意見を述べてきた。「フロンティア飯豊、ふるさと新時代」との目標を掲げ、町長選挙3選を果たす。



菅野 芳秀

1949年生まれ。山形県長井市出身。大学卒業後、労働運動への参加などを経て、76年帰郷。父の後を継ぎ、百姓となる。水田の単作経営を経て、83年より、自然卵養鶏を軸に、2haの水田、20aの自家用の野菜畑との有畜複合経営を開始。88年より有志2名と共に旗揚げに取り組んだ「台所と農業をつなぐながい計画」（レインボープラン）は、97年より始動。2005年には、同プラン推進協議会会長に就任。16年一般社団法人置賜自給圏推進機構・代表理事就任。

コメンテーター



藤井 敏信

1946年生まれ。兵庫県神戸市出身。早稲田大学にて博士（工学）取得。研究分野は建築学（都市計画・建築計画）、社会学など。論著多数。2017年東洋大学名誉教授。



宮内 貴久

1966年生まれ。岩手県出身。筑波大学にて博士（文学）取得。2013年お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科文化科学系教授。共著に『都市と境界の民俗』、主な著書に『家相の民俗学』（ともに吉川弘文館）。